

(様式2)

パブリックコメント実施結果報告書

令和6年4月4日

担当課	文化政策課
担当者	川口、川上
連絡先	0857-26-7125

パブリックコメントのテーマ：第2期アートピアとっとり行動指針（案）

1 手段別意見応募件数（意見件数を記入し、応募者数は（ ）書きをしてください。）

郵便	ファックス	電子メール	県民参画協働課・ 総合事務所等 (意見募集箱)	電子 アンケート	説明会等	その他	計
()	()	23件(5人)	()	()	()	()	23件(5人)

2 応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件数	主な意見
反映した (一部反映を含む)	5	<ul style="list-style-type: none">・ I の前文に、「文化芸術が日常生活の一部となり、だれもが、いつでも、身近なところで気軽に（後略）」と下線部分を追加してはどうか。・ アーティスト本人以外の者がクリエイティブディレクターの仕事を学び、アーティストを支援するような仕組みをつくってはどうか。・ 子育て世代にとって質の高い芸術に触れる機会がほぼないに等しく、早急に改善すべき。・ 県民サポーターには、どうやって募集し、どんな活動をしているかなど詳しい説明を加えてはどうか。・ 冒頭の策定趣旨に「美しい自然と歴史がいきづく鳥取県には、先人たちが育んできた地域特有の伝統や文化、歴史的資産・景観があり、<u>これらは地域の礎であり、地域経済に大きな効果をもたらす役割が期待されています。</u>」と下線部分を追加してはどうか。
既に盛り込み済み	4	<ul style="list-style-type: none">・ 県民の自主的な文化活動を支えるために、個々の自主性を損なわない程度に、文化支援策の充実が望まれる。・ 鳥の劇場や大山・西郷（工芸アート村）をモデルケースとしつつ、県内各地で同様の成果が上がるような取組があるとよい。県立美術館が拠点・ハブとしてそのような機運が一層高まることが期待される。
今後の検討課題		
対応できない		
その他上記に分類 できないもの	14	<ul style="list-style-type: none">・ I (2)の文化施設は、狭義の文化施設だけでなく、広義の文化施設を視野に入れ、有機的な連携が図られるべきと考えるが、その視点は盛り込まれているか。また、「地域のさまざまな空間を積極的に活用」には、遊休不動産（空き家等）の活用も含まれるか。・ 「アートマネジメント人材」の地位を確立し、支える仕組みを考えているか。・ 全般にわたり「文化芸術」と「アート」の表記が混在しているが、どのように使い分けているのか。
計	23	

3 公表方法として該当するものに○を付してください。

とりネットでの公表（担当課による）	報道機関への提供	県議会への報告	広報紙等への掲載	関係団体等への報告	その他
○		○			○